

## 耐爆容器を使用した5インチ艦砲弾の不発弾処理試行運用について

沖縄総合事務局開発建設部では、5インチ艦砲弾不発弾処理にあたって、沖縄不発弾等対策協議会で耐爆容器の実用化に向けて、科学的知見や根拠に基づいた安全性の検証を長年にわたり行った結果、問題がないことを確認したため、5インチ艦砲弾用耐爆容器の試行運用を以下のとおり実施します。

### 1. 耐爆容器試行運用の概要

- 目的:これまで5インチ艦砲弾の不発弾処理においては、強固な処理壕を構築しその上で信管破壊処理(安全化)を行っておりましたが、これに変わる新方式として耐爆容器を使用した信管破壊処理を行うことで、従来の避難距離を縮小することが可能となるため、住民避難や処理作業にあたる関係者の負担軽減を図ることができます。また、今回の試行運用は、沖縄本島内を対象とし、従来方式と同じ避難距離で実施し、騒音・振動測定調査の結果を基に効果検証を行い、避難距離を見直します。
- 処理期間:令和6年1月28日～3月中旬
- 避難距離:88m(現行方式の処理壕同様)
- 業務発注者:内閣府 沖縄総合事務局
- 業務受注者:株式会社神戸製鋼所
- 使用方法:自治体からの耐爆容器使用申請に基づき、(株)神戸製鋼所担当者を派遣します。なお、不発弾処理は従来どおり陸上自衛隊第15旅団第101不発弾処理隊が実施します。

### 2. 報道機関向け取材

取材につきましては、1月28日(日)宜野湾市海浜公園内で実施予定の不発弾処理終了後に、宜野湾市の囲み取材と合同で実施します。  
詳細につきましては、宜野湾市より記者発表します。  
また、8:00～8:30までの予定で耐爆容器の写真撮影時間を設けます。

### 3. 耐爆容器写真【(株)神戸製鋼所提供】



#### お問い合わせ先

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 建設行政課

担当者：平川、外間、相川、平敷

連絡先：098-866-1908(直通)